



しゅうしよく語「何を」

チェック

名前

月 日

① 次の『鳴き声をきそうセミ』を読んで、後の問いに答えましょう。

真夏になると、たくさんセミがその鳴き声をきそっています。なぜセミはあんなに大きな声で鳴くのでしょうか。

実はセミは、成虫になってから長くても一か月しか生きられません。オスはその間にメスをさがして、自分の子そんをのこさなければなりません。

だから、セミのオスは、ライバルに負けないように大きな声で鳴いているのです。

※子そん……ちやまのこ。



(1) セミは、真夏になると何をきそっているのですか。

(2) セミのオスは、鳴き声でだれをよんでいるのですか。

(3) セミの鳴き声が大きいのはなぜですか。

() にあてはまる言葉を書きましょう。

() に負けない大きな声で鳴いて、() をのこせるようにするため。

② 次の『ラーメンたん生の地は?』を読んで、後の問いに答えましょう。

しょうゆ、とんこつ、みそなど、町ではさまざまな味のラーメン店を見かけます。みなさんは、ラーメンがどのようにして生まれたか知っていますか。

ちゅうかそばとも言われるラーメン。もともと中国にあっためんりょう理が、日本流にアレンジされて生まれました。

日本人ごこのみのモチモチしためん、日本の文化である「だし」をうまくコラボさせて作られています。

この日本オリジナルのラーメンは、世界中の人々にあいされています。

(1) 町で見かけるのは何ですか。

() の ()

(2) 日本のラーメンは、何をアレンジして生まれましたか。

() にあった ()

(3) 日本オリジナルのラーメンは、何と何をコラボさせて作られていますか。

() ()



しゅうしよく語「何を」

ワーク

名前

月 日



主語とじゅつ語のほかにしゅうしよく語を使うと、よりくわしい文になります。
 しゅうしよく語は、「いつ」「どんな」「何を」など、文をくわしくする言葉です。
 ここでは、「何を」を入れてみます。

(主語) ぼくは (じゅつ語) します。 何をしたのかな？ 	(主語) ぼくは (しゅうしよく語) 勉強を (じゅつ語) します。 勉強をしたんだね！
↓	



① 次の文にあう「何を」のしゅうしよく語を、下の□からえらんで書きましょう。

- ① タコは () 食べる。
- ② プロ野球チームは () 目指している。
- ③ ぼくは () 流す。
- ④ 魚りよう理は () 強くする。

ゆうしようにを
 なみだを
 エビを
 ほねを

② 次の文の主語に〓、じゅつ語に―、「何を」のしゅうしよく語に〃を引きましょう。

- ① 犬が えさを 食べる。
- ② アナウンサーが メモを 読む。
- ③ 鳥たちが 南の 山を 目指す。
- ④ わたしは 毎日 家で 音読を します。
- ⑤ ぼくは きのお おすしを おなかいっぱい 食べた。

③、④、⑤は、「何を」のほかにもしゅうしよく語があるよ。





しゅうしよく語「何を」

おさらい

名前

月 日

次の『世界のおぼん』を読んで、後の問いに答えましょう。

日本や中国では、八月ごろに「おぼん」という行事があります。おぼんは、一年の中でも大事な行事です。

おぼんは、自分の家にご先様のたましいをおむかえし、感しゃする行事です。だから家族でおはかまいりに行き、そうじをし、花などをおそなえます。

夏祭りなども全国で行われ、ぼんおどりや、屋台などを楽しみます。

中国ではもつとさかんです。町中がせんこうのけむりでおおわれることもあります。お寺に行ったり、町の人みんなで食事をしたり、おしばいをみたりします。

実は、アメリカなどにも「おぼん」と意味のいた行事があります。それは、「ハロウィーン」です。子どもたちがかそうして町中をねり歩き、おかしをもらいます。日本でも、かそうを楽しんだりしますね。

楽しいお祭りですが、ハロウィーンももともとはご先様をおむかえする行事なのです。



(1) 八月ごろにある大事な行事は何ですか。

(2) (1)では、家は何をおむかえするのですか。

(3) 中国では、おぼんにどんなことをしますか。三つ書きましょう。

・ () に行く。

・ みんなで () をする。

・ みんなで () をみる。

(4) アメリカなどの国の、おぼんにいた行事は何ですか。

(5) (4)の行事で、子どもたちは何をしますか。三つに分けて書きましょう。

・ () をする。

・ () をねり歩く。

・ () をもらう。

(6) おぼんとハロウィーンは、どんなところが同じですか。

どちらも () をおむかえ

する行事です。



ナマケモノはなまけもの？

名前

月 日

次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

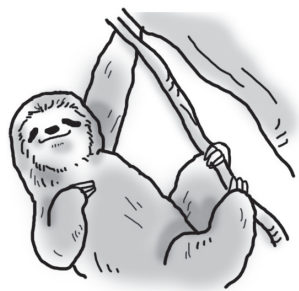
ナマケモノは、南アメリカのアマゾン地いきなどにすむ動物です。ゆったりした動作がなまけているように見えることから、そのような名前になりました。

ナマケモノは、一日中ほとんど動きません。場所をかえることもほとんどなく、あたりを見回したり、エサである葉っぱを食べたりして一日をすごします。なぜそんなに動かないのでしょうか。

ア、エサである葉っぱはカロリーがひくいため、エネルギーにかえにくいからです。ナマケモノは体重が数キログラムしかなく、食べた葉っぱのえいようを体に取りこむのに一週間もかかります。そのため、使えるエネルギーが少なく、活発に動けません。イ、木の上でじっとしていることがほとんどなのです。

そのかわりに、軽い体をいかして、木登りが上手になりました。また、ほとんど動かないので、天てきであるワシや大がたのネコのなかまからねらわれにくいのです。

ウ、ナマケモノは、少ないエサで活動をほとんどしない「省エネ生活」をしているのです。自分にあつたムダのない生活をしているだけなのに、ナマケモノという名前はかわいそうですね。



(1) ナマケモノは、ふだん何をして一日をすごしていますか。二つ書きましょう。

(2) ア〜ウにあてはまる言葉を□からえらんで書きましょう。

ア () イ ()
ウ ()

つまり それは だから

(3) ナマケモノが使えるエネルギーが少ないのはなぜですか。

葉っぱは () がひくいため、 () にかえにくいから。

(4) ナマケモノがとくいなことは何ですか。

()

(5) ナマケモノの省エネ生活について、() にあてはまる言葉を書きましょう。

少ない () で () を
ほとんどしない、 () のない生活。